

## 第71回日本PTA全国研究大会広島大会レポート

令和5年8月28日  
大阪府PTA協議会・副会長  
川野 和彦

- 研究大会実施日：令和5年8月25日・26日
- 分科会：リーガロイヤルホテル広島（特別第1分科会）
- 全体会：広島県立総合体育館 広島グリーンアリーナ

### ◆分科会・研究課題 「世界で活躍する人材を育むために」

～これからの国際化に対応できる力とは～

★独立行政法人国際協力機構 中国センター（JICA 中国）所長 村岡啓道様の講演  
ご自身が国際協力に進もうと思ったきっかけや、業務経験、JICAの活動紹介などを中心に講演される。

★AIC WORLD College 横田健司氏と熊谷優一氏による実践発表  
実際に行われている授業と同様にスクリーンの問いに近くの方と意見交換し互いの意見を尊重し自分の意見を発表する参加型授業が行われました。

★村岡啓道氏 横田健司氏と日本PTA前会長・東川勝哉氏によるパネルディスカッション

- ①世界で活躍する人材とは
- ②世界で活躍するため子供たちに必要な力とは
- ③今後世界で羽ばたく子供たちを育てるためにPTAで考えておくべきこと
- ④令和の日本型教育、「個別最適」で「協働的」な学びと国際化・英語教育

### ●まとめ

我が子がこれからの国際社会に対応できるためには、また子どもに必要な国際力とは何か等々、興味深く拝聴しました。

従来の教科書的な暗記型知識だけではなくこれからは、楽しみながら学んで考える自由な発想が最も応用がきいて実用に役立つ大事なことだと痛感しました。

そのためには例えどんな発言でも否定するのではなく、共感してやることで子どもは豊かに発想を高め、さらに興味を持ち自ら導く方向性を選んでいくのだと勉強しました。また、横田先生の「英語は発音よりコンテンツが重要」には親としてきづかさされました。

## ◆全体会・記念講演

株式会社感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子氏

演題 「心のトリセツ」

～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～

### ●まとめ

私は約30年前に就職し、君たちは会社の歯車だと言われ、丈夫でより生産性の高い優秀な歯車になる為に上司の指示通りに働きました。

現代はチャット GPT を代表とする生成的人工知能（生成 ai）の時代です。

今までは私たちは会社の優主な歯車になるために、がむしゃらに働いてきましたが

これからは、がむしゃらに邁進して優秀な成果を出すのは人工知能の仕事で

私たち人間の仕事は人工知能に命題を探し出すことだと聞きハッと思いました。

そのためには「発想力」と「対話力」がこれからは求められるそうです。

では「発想力」と「対話力」が育つにはどうすればよいのか。

子どもが、不注意で失敗した時や、部下がミスをした時など、叱るのではなく

まずはすべて共感し「いいね」「わかる」で受ける、

そうすることで相手は失敗を恐れず発想感と、自己肯定感を保ち安心感を得ます。

逆に頭ごなしの対話は相手の発想力と自己肯定感を奪い、脳の発想そのものを停止してしまいますので、その人は失敗を恐れ皆と同じ答えを求める優秀な歯車になろうとします。

私は今回の講演を拝聴し、親として、夫として、経営者として、すべてにおいて

考えさせられる講演でした。

家庭や会社でも自分の思い通りにならなかつたら感情的なり、相手の話を「ダメ」から入ることが多々あります。

黒川伊保子先生の話聞き、家族や会社に「発想力」と「対話力」を求める前に

自らが今までの考えの癖を認識し黒川先生の考えを実践していこうと痛感しました。

【人の話は共感で聞き、自分の話は結論から話す】

示唆に富んだ広島全体会でした。

新人のわたしに貴重な学びの場を提供していただき有難うございました。

広島で学んだことを今後の単位・市PTA活動に活かします。